

さらに深める  
各委員による  
**予算審査**  
より深く

「予算議会」といわれる3月議会。予算審査特別委員会は、3日間、延べ約8時間、質問数はなんと延べ約350問強。全議員でチェックしました。

暮らす 創る  
**生活・まちづくり**

**トリガー条項凍結解除による市への影響**

地方揮発油譲与税  
8500万円

**問** トリガー条項凍結解除を排除していない中、解除された場合の影響額は、

**答** トリガー条項については、平均ガソリン価格が3か月連続で1ℓにつき160円を超えた場合に、上乗せ分0・8円分に相当する譲与税全体の15%程度の減収が見込まれる。(写真A)



A 減収は地方自治体にとって大きな痛手。世界情勢も不透明感が増している

**子宮頸がんワクチンの積極的推奨再開**

H PVワクチン接種事業  
3203万円

**問** 接種対象者が接種を検討・判断するため、どのような情報提供がなされるのか。副反応への対応等、医療機関との連携は。

**答** 市のホームページにて、HPVワクチン予防接種の積極的推奨が控えられてきた背景や、その終了について厚労省の通知やパンフレットなどを掲載、4月から対象者に個別に予約票とともに厚労省の改訂された資料を送付する予定。副反応が生じた場合は専門の医療機関が紹介されるなどの対応となる。

**誰もが安心して使えるよう施設整備を**

吉田公民館改修事業  
1億8612万円

**問** 改修に合わせて、オストメイト設備を設置することとだが、現在、公共施設における設置状況は。

**答** 施設の大規模改修に合わせて、多目的トイレを設置し、オストメイト設備を行っている。現在125ある公共施設の中で44施設に設置している。(写真B)



B 未整備の公共施設にも多目的トイレを

**住民票など「コンビニでも交付**

「コンビニ交付サービス事業」  
2610万円

**問** 令和4年8月からマイナンバーカードを利用してコンビニで取得できるようだが、その際の手数料の減額は限定的なのか、それとも恒久的か。

**答** 当面このまま据え置きにしていきたいが、マイナンバーカードの普及促進のための減額なので、近隣市町村の状況や利用状況などを鑑み、今後の方向性を協議する。

**燕市のお財布事情って？**

歳入

**問** 5年連続「財政は厳しさを増している」と表記しているが、ふるさと納税が40億円を超え、真水の寄附が20億円以上あり、45件も新規事業を行っているのに財政が厳しいというたい続ける認識は。

**答** 自主財源の根幹をなす市税収入が減少する一方、ふるさと納税による財政の下支えがされている状況を客観的に踏まえると、持続可能な財政運営に向けて「財政状況は厳しい」と言わざるを得ない。

高める 守る  
**健康・福祉**

**生理用品・紙おむつ等の備蓄品の整備**

災害対策事業  
1億7414万円

**問** 「生理用品は、使用期限を超過する前に生理の貧困対策に活用する」との記載があるが、

幼児用紙おむつ、大人用紙おむつについての考えを伺う。

**答** 3年を目処に目標数に達するよう計画し備蓄していく。7年度以降、子育て施設や高齢者施設で利用してもらう予定である。

働く 魅せる  
**産業・観光**

**企業誘致戦略は功を奏しているのか**

インバケーション拠点整備支援事業  
1億1767万円

**問** 令和3年度に開設したシェアオフィスの実績として、市外県外から転入した企業件数はどれだけあるのか。

**答** 令和3年度に開設した3つのシェアオフィスでは、市外県外からの入居件数は既に5件あり、その他にも15件の申し込みがある。また、3者間での情報交換による相乗効果も出てきている。(写真C)

**届けたいターゲットを明確にして実施**

空き家等対策連絡協議会事業  
54万円

**問** まちなか空き家展示相談会の事業周知の方法は。

**答** 広報誌、市ホームページ、地元の空き店舗を活用している方からも協力を得て周知を図る。



C 市内には3つのシェアオフィスが開設。オフィス同士での横のつながりもできつつあり、新たな展開を期待

※ 皆さんからいただいたアンケートを参考に一杯工夫しました

学  
ぶ  
育  
て  
る

子育て・教育

磨  
く  
輝  
く

スポーツ・文化

**子供たちを守るために  
(交通安全確保)**

吉田東通り自歩道整備事業  
4680万円

**問** アクセス道路として交通量が多い路線だが、自歩道拡幅整備工事に当たり、西部卸売市場の移転・新築との工事スケジュールはどのように調整しているのか。

**答** スケジュールに関しては西部卸売市場と連携して整備事業を行う。通学路に関しては西側を整備するので、安全を確保するため東側自歩道を通学路とする。

**タブレットでの学びをサポート**

ICT教育推進事業  
7920万円

**問** タブレットを家庭で使用するために貸し出しを行うルーターは何台あるか。また、就学援助家庭などの費用負担は予算に計上されているのか。

**答** 貸出用ルーターは300台用意しており、140台ほどの貸し出しの実績がある。新年度はタブレットの持ち帰り利用を検討しており、就学援助対象とすることも検討していきたい。

**大河津分水通水100周年事業の一つとして**

偉人漫画制作事業  
550万円

**問** 私塾長善館創設者「鈴木文臺」の功績を題材にしたマンガを制作することであるが、制作後の活用やマンガ家の選考について。

**答** 小学4年生の教材、また道徳の授業等に活用する。



**E** 鈴木文臺の資料も貯蔵されている長善館。漫画をきっかけに偉人の歴史に触れてみては

100ページのもので市内・県内ゆかりの人を考えている。(写真E)



**D** オンラインで行われた授業の一コマ。現代を端的に表している一コマとも言える



**E** 貸し出しを行っているモバイルルーターの一例

— 新年度予算審査 —

討論 ダイジェスト  
賛成討論

重点事業は、国、県、市町村で今後しっかり取り組んでいく必要がある重要な事業であり、燕市も重要課題と位置づけ、先を見据えた予算を編成したと推察できる。基本事業の拡充や新規事業により、さらなる発展につながっていくと期待できるものである。

反対討論

非正規である会計年度任用職員の人数は拡大するばかりで、その所属も保育・教育に関係する部署で81.8%を占め、大半が女性である。子育て環境の要である教育の場において、市が不安定な雇用を常態化している現状は見直さなければならない。

(そのほか、マイナンバーカード、指定管理者制度(特に図書館)、公立保育園の民営化、新型コロナワクチン接種事業など)